

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が変更されました「学校の新しい生活様式」(ver.8)に基づいて、基本的な感染症対策を徹底しましょう。

1 登校前（家庭）

- 朝、各家庭で検温し、健康観察カードに記入し、保護者の印をもらい学校に持参する。
- 発熱等の風邪の症状がある場合には、生徒も教職員も自宅で休養する。
- 同居の家族については健康状態の確認は必要ない。

2 登下校時

- 熱中症リスクが高い夏場においては、熱中症対策を優先しマスクの着用は必要ない。ただし、人との距離は十分確保し会話を控える。
- バスを利用する時には、マスクを着用するなどの感染対策が必要。可能な範囲で間隔を空けて座り、会話は控える。降車後は顔をできるだけ触らない。
- 密集、密接を避ける。
- 公園等に寄り道をし、集団で飲食（水分補給は可能）をしたり、近距離でマスクを外して遊んだりしない。

3 学校到着時

- 朝の会で、生徒の検温結果及び健康状態を把握する。検温をしていない生徒は各学年で検温する。
- 発熱等風邪の症状がある場合は、保護者に連絡するとともに、生徒を帰宅させる。
- 教室にいったんカバンを置き、手洗いをを行う。その後、授業道具等の準備を行う。

4 授業

- マスクを着用する。ただし、体育の授業では、屋外・屋内を問わずマスクの着用は必要ないが、生徒間の距離を十分に確保する、屋内での呼気の激しい運動は避ける。
- 換気は、気候上可能な限り常時、2方向の対角の窓を同時に開けて（10cm～20cm）行うようにする。困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）。
- できるだけ個人の教材教具を使用し、生徒同士での貸し借りをしない。
- 器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の適切な消毒や手洗いをを行う。
- 次の活動は、感染対策を講じてもなお感染のリスクが高い活動であるが、換気、身体的距離の確保や手洗いなどの感染症対策を行った上で実施することを検討する。

「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」

- (1) 理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- (2) 音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- (3) 美術における「生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- (4) 技術・家庭における「生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- (5) 保健体育における「生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

5 給食

- 配膳係は、まず石けんで手を丁寧に洗ってからデリバリー給食を取りに行く。
- 手洗いを済ませた後、弁当の準備をする。
- マスクは、はずして袋（各自が準備）に入れる。教室のゴミ箱には捨てない。
- 向かい合わず距離をとって食事をとり、大きな声を出さない。食後は速やかにマスクを着ける。
- 座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、給食の時間において、児童生徒等の間で会話をすることも可能

6 休憩時間

- 教室の窓は全開にして換気をする。（保体委員）
- 身体的距離（できるだけ2m（最低1m））が十分とれる場合は、マスクを外してもよい。ただし、会話をすることはマスクを着用する。また、お互いの体が接触する遊びは行わない。

7 図書室

- 図書室の利用の前には必ず手洗いをを行う。

8 掃除

- 換気のよい状況でマスクを着用した上で行う。掃除後は必ず石けんを使って手洗いをを行う。

9 部活動

- 可能な限り感染症対策を行った上で、活動を行う。
- 運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取扱いに準じる。
- 部室内、その他の共用エリア、更衣室、大会等の集団での移動時や飲食時などは、感染対策を徹底する。

10 消毒

- 机と椅子は、清掃の時間に、生徒が水拭きする。必要に応じて、生徒が家庭用洗剤を用いて拭き掃除を行う。
- トイレや洗面所は、生徒が家庭用洗剤を用いて通常の清掃活動の範囲で清掃する。
- 大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日に1回（清掃の時間に）、生徒が家庭用洗剤を用いた拭き掃除を行う。

11 その他

- ハンカチ（タオル）、水筒（量を多めに）を持参する。学校で水道水を補給してもよい。（冷水機は当面の間、使用しない。）
- 健康や心のことで悩みや不安なことがあれば、相談しやすい先生のところに行き、相談する。
- マスク着用に関しては、例えば、児童生徒等の心情等に適切な配慮を行った上で、各学校においてマスクを外す場面を設定する、マスクの着用が不要な場面において積極的に外すよう促すといったことを通じて、引き続き、活動場所や活動場面に応じたメリハリのあるマスクの着用が行われるようにする。